

## A.1 追加性に関する情報

### (1) 補助金に関する情報

補助金交付主体	
補助金名称	
補助金額 (千円)	

※プロジェクト登録の申請段階で申請を予定している補助金は全て記載すること。  
また、複数の補助金を申請予定の場合には、欄を追加して記載すること。

### (2) 経費等・収益に関する情報

#### 経費等

①経費等総額(=a-b+c)	0	千円
a 森林経営に要する経費 ※1		千円
b 補助金	0	千円
c 銀行等借入利子		千円

※1 プロジェクト実施地における認証対象期間中の森林経営に関する経費を記載すること。

#### 収益

②収益 ※2		千円
--------	--	----

※2 プロジェクト実施地における認証対象期間中の森林経営に関する収益を記載すること。

#### 採算性

③収益－経費等(=②－①) ※3	0	千円
------------------	---	----

※3 マイナスとなることを証明すること。

## A.2 吸収量の算定方法

### A.2.1 認証対象期間

認証対象期間	平成25年04月01日 ~ 平成33年03月31日
--------	---------------------------

※1 認証対象期間の開始日は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日とすること。

※2 認証対象期間の終了日は、平成33年3月31日までの間で設定すること。

### A.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
$C_{total}$	当該年度の吸収量	tCO2
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{cut}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 $C_{BL}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 $C_{cut}$ (tCO2)	当該年度の 吸収量 $C_{total}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0	0
平成26年度	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0
平成28年度	0	0	0	0
平成29年度	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0
平成31年度	0	0	0	0
平成32年度	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、A.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。

※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、A.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。

※3 当該年度のベースライン吸収量は、A.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

### A.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0	365	0
平成26年度	0	0	0	365	0
平成27年度	0	0	0	366	0
平成28年度	0	0	0	365	0
平成29年度	0	0	0	365	0
平成30年度	0	0	0	365	0
平成31年度	0	0	0	366	0
平成32年度	0	0	0	365	0
合計					0

- ※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、(別紙)吸収量算定シートに記載すること。
- ※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が平成27年度及び平成31年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

#### A.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{cut}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の地上部バイオマス中の排出量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の地下部バイオマス中の排出量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度のプロジェクト実施後排出量 $C_{cut}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0
平成26年度	0	0	0
平成27年度	0	0	0
平成28年度	0	0	0
平成29年度	0	0	0
平成30年度	0	0	0
平成31年度	0	0	0
平成32年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

### A.2.5 ベースライン吸収量の考え方

#### (1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、平成2年4月以降に森林施業（植栽、保育、間伐）を行った人工林の面積において、平成25年4月以降適切な森林経営がなされなかった場合の吸収量とする。

#### (2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO2	0

## A.2 吸収量の算定方法

### A.2.1 認証対象期間

認証対象期間	平成25年04月01日 ~ 平成33年03月31日
--------	---------------------------

※1 認証対象期間の開始日は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日とすること。

※2 認証対象期間の終了日は、平成33年3月31日までの間で設定すること。

### A.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{stock} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
$C_{total}$	当該年度の吸収量	tCO2
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{stock}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 $C_{BL}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 $C_{stock}$ (tCO2)	当該年度の 吸収量 $C_{total}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0	0
平成26年度	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0
平成28年度	0	0	0	0
平成29年度	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0
平成31年度	0	0	0	0
平成32年度	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、A.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。

※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、A.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。

※3 当該年度のベースライン吸収量は、A.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

### A.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0	365	0
平成26年度	0	0	0	365	0
平成27年度	0	0	0	366	0
平成28年度	0	0	0	365	0
平成29年度	0	0	0	365	0
平成30年度	0	0	0	365	0
平成31年度	0	0	0	366	0
平成32年度	0	0	0	365	0
合計					0

- ※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、（別紙）吸収量算定シートに記載すること。
- ※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が平成27年度及び平成31年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

#### A.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{stock} = C_{stock,AG} + C_{stock,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{stock}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{stock,AG}$	当該年度の伐採・刈払いに伴う地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{stock,BG}$	当該年度の伐採・刈払いに伴う地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の地上部バイオマス中の排出量 $C_{stock,AG}$ (tCO2)	当該年度の地下部バイオマス中の排出量 $C_{stock,BG}$ (tCO2)	当該年度のプロジェクト実施後排出量 $C_{stock}$ (tCO2)
平成25年度	0	0	0
平成26年度	0	0	0
平成27年度	0	0	0
平成28年度	0	0	0
平成29年度	0	0	0
平成30年度	0	0	0
平成31年度	0	0	0
平成32年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-002)に記載すること。

#### A.2.5 ベースライン吸収量の考え方

(1) ベースライン吸収量の考え方

転用のない草地、農地等は、現時点においては日本国温室効果ガスインベントリ上吸収量として計上されていないため、ベースライン吸収量は0とする。

(2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO <sub>2</sub>	0

### A.3 モニタリング計画

モニタリング項目			モニタリング方法 ※1			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
$Area_{Forest,i}$	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha			初回検証申請時に1回				
$M_{Forest,i}$	適切な施業又は森林の保護（森林の巡視等を含む）の実施状況	—			検証申請時に1回	—	—	—	
$Area_{Forest,cut,i}$	主伐が実施された森林の面積	ha			主伐実施時に1回				
$\Delta Trank_{SC,i}$	(年間) 幹材積成長量	$m^3/ha$		(使用する収穫予想表の名称を記載すること)	検証申請時に1回	—	—	—	
$Trank_{SC,cut,i}$	幹材積量	$m^3/ha$		(使用する収穫予想表の名称を記載すること)	検証申請時に1回	—	—	—	
$WD_i$	容積密度	$t/m^3$			検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
$BEF_i$	拡大係数	—			検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
$R_{ratio,i}$	地下部率	—			検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	(地位特定のためのモニタリングプロットは、設定箇所を森林計画図・オルソ画像、空中写真等を用いて別添資料として示すこと)	初回検証申請時に1回	(胸高直径の測定に使用する計量器を記載)	—		
						(樹高の測定に使用する計量器を記載)	—		

※1 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。



【排出量算定シート】(FO-001用)※1

モニタリング エリアNo.	小班名	モニタリングプ ロット設定 (プロット設定小 班に○)	樹種	主伐年度	林齢	森林の樹種、地位等による階層 (地位) $i$			主伐の対象森林の面積 (ha)			主伐の対象森 林の面積(左記 の値) $Area_{Forest, cut, i}$ (ha)	主伐前の単位 面積当たりの 幹材積量 $Trunk_{SC, cut, i}$ ( $m^3/ha$ ) ※3	幹材積(成長) 量をバイオマス (乾燥重量)に 変換するための 係数 (容積密度) $WD_i$ ( $t/m^3$ )	幹のバイオマス量に 枝葉のバイオマス量 を加算補正するた めの係数 (拡大係数) $BEF_i$ ※3	バイオマス 量(乾燥重 量)を炭素 量に換算す るための炭 素比率 (炭素含有 率) $CF$	地上部バイオ マス中のCO2 排出量に、地 下部(根)を加 算補正するた めの係数(地下 部率) $R_{ratio, i}$	地上部バイ オマス中の 排出量 $C_{out, AG, i}$ (tCO2)	地下部バイ オマス中の 排出量 $C_{out, BG, i}$ (tCO2)	プロジェクト 実施後排出 量 $C_{out}$ (tCO2)
						地位 $i$ ※2	実測値 /想定 値	(想定値 の場合) 根拠	面積 (ha) ※2	実測値 /想定 値	(想定値 の場合) 根拠									
											0				0.5		0.0	0.0	0.0	
											0				0.5		0.0	0.0	0.0	
											0				0.5		0.0	0.0	0.0	
											0				0.5		0.0	0.0	0.0	

※1 モニタリングエリア数に応じて行を追加すること。また、列を削除してはならないが、情報整理のため列を追加してもよい。

※2 地位、面積の欄では、森林簿、伐採等届又は森林経営計画等の情報を用いることが可能。

※3 主伐を実施した年度以外は、0または空欄とすること。

平成25年度	0.0	0.0	0.0
平成26年度	0.0	0.0	0.0
平成27年度	0.0	0.0	0.0
平成28年度	0.0	0.0	0.0
平成29年度	0.0	0.0	0.0
平成30年度	0.0	0.0	0.0
平成31年度	0.0	0.0	0.0
平成32年度	0.0	0.0	0.0
<b>合計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>

【排出量算定シート】(FO-002用)※1

モニタリングエリアNo.	小班名	伐採・刈払い実施年度	植林活動対象地の面積 (ha)			植林活動対象地の面積(左記の値) <i>Area<sub>Forest,i</sub></i> (ha)	植林前土地利用 カテゴリー	地上部のCO2蓄積量 (tCO2/ha) ※3	地下部のCO2蓄積量 (tCO2/ha) ※3	CO2蓄積量 (tCO2/ha)	伐採・刈払いに伴う地上部バイオマスの排出量 <i>C<sub>stock,AG</sub></i> (tCO2) ※3	伐採・刈払いに伴う地下部バイオマスの排出量 <i>C<sub>stock,BG</sub></i> (tCO2) ※3	プロジェクト実施後排出量 <i>C<sub>stock</sub></i> (tCO2)
			面積 (ha) ※2	実測値/想定値	(想定値の場合)根拠								
						0							0.0
						0							0.0
						0							0.0
						0							0.0

※1 モニタリングエリア数に応じて行を追加すること。また、列を削除してはならないが、情報整理のため列を追加してもよい。

※2 森林簿、伐採等届又は森林経営計画等の情報を用いることが可能。

※3 地上部・地下部バイオマスCO2蓄積量が別個に把握可能な場合のみ記入すること。

平成25年度	0.0	0.0	0.0
平成26年度	0.0	0.0	0.0
平成27年度	0.0	0.0	0.0
平成28年度	0.0	0.0	0.0
平成29年度	0.0	0.0	0.0
平成30年度	0.0	0.0	0.0
平成31年度	0.0	0.0	0.0
平成32年度	0.0	0.0	0.0
合計	0.0	0.0	0.0